

がん化学療法運営委員会

Plan 計画

- ① 適切なレジメン登録と管理
- ② 治療および副作用マネジメントの個別化
- ③ メディカルスタッフ外来の充実
- ④ がん患者(進行期)に対する新規ポート造設
- ⑤ 重症 irAE 患者への適切な管理

Do 実行

- ① 参考文献と薬剤添付文書にあわせたレジメンの作成、ガイドラインに応じた支持療法の適正化
- ② ガイドライン、学会情報等に合わせた最新の医療を提供。適切な副作用対応(減量・休薬・支持療法)
- ③ 薬剤師、看護師、管理栄養士、公認心理師による面談、歯科医による口腔機能管理の実施
- ④ ポートを利用した化学療法の実施
- ⑤ 重症 irAE 発症患者に対する院内対応フローの作成

Action 改善

- ① 登録レジメンの up date があつた場合に適宜改訂をしていく
- ② 新規レジメン登録後、必要にあわせて、施行基準や支持療法、副作用対応について整備をおこなう
- ③ 年間を通じて件数や算定数より、継続的な改善課題を立案する
- ④ 新規ポート導入にあたる課題を立案する
- ⑤ 院内対応フローの周知、徹底をおこなう

Check 評価

- ① 申請レジメンについて臨床試験データより有効性・安全性の評価、ガイドライン準拠について評価
- ② 治療基準逸脱症例、有害事象について報告、評価
- ③ メディカルスタッフ外来の実施件数および算定件数より適切性の評価
- ④ 新規化学療法導入患者件数とポート導入件数より適切なポート導入が来ているか評価
- ⑤ irAE 発生件数、内容について報告、評価。適切なスクリーニングや対応が来ているか評価する。